

ウィッキペディアから（日本の蒸気機関車史より）

国内の入門者向けに、外国型では、ありますが。アキュラフト設計の安いモデルをお勧めしているのですが、今一歩？反応が鈍いので、外国型に見向きもしない鉄ちゃんにも、受け入れられる日本型で、アキュラフト委託で2軸で安く出来そうなモノは無いかと考えを巡らせてパソコンを眺めておりましたら、こんな文章が或る場所に掲載されていました。詳しく私感想を述べる気はございませんが、何だかなあ・・・と考えさせられる文章でしたので転載しておきます。この趣味は基本世界化肯定で、世の中色々在って、色々居て面白い、と感じられる方に向いている。と、やはり思いが深まるとやはり徒労感は否めませんが、文書紹介以降今お勧めの買い求め易い価格帯の小型機も御紹介させていただきます(この派生で適当な日本型を検討しております)。

問題点(ウィッキペディア日本語版「日本の蒸気機関車史」より)

日本の蒸気機関車の動態保存は数が多いが、いずれもC11形やそれ以下の小型機に集中している。小型機関車の方が、保存維持にコスト・手間がかからないためである。

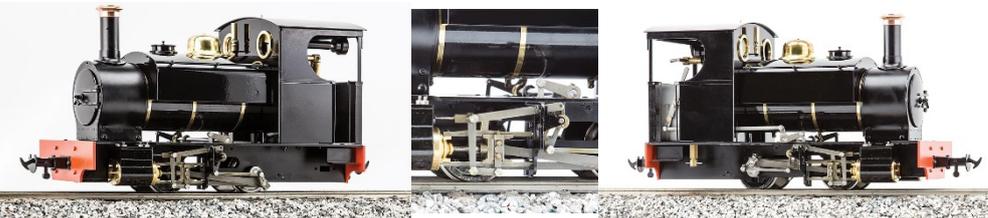
産業遺産に理解がある国では、保存鉄道や動態保存機など文化財として保存する蒸気機関車の維持管理に政府の支援や民間のボランティア活動が盛んであったりする。列車の運転に際しても、乗客がいわゆる寄付金を高額でも払って乗車するというケースが多い。撮影を目的に自動車で追いかけるファンも、その趣旨に賛同してカンパを行う例もある。

対して日本では、これらを政府が積極的支援することに国民の理解が少なく、イベント列車などに対しても切符の販売は良好なもの、**現用列車と同等以上の支出を嫌う傾向にある。また鉄道ファンについても(SLに限らず)動態保存の要求をしながら、維持管理や支出といった活動については消極的で、俗に言う『口は出しても金は出さない』姿勢が非常に強くみられる。**

2016年現在、地方自治体(埼玉県)が所有しているC58 363と、非営利団体である日本ナショナルトラストが所有しているC12 164を除き、動態保存の蒸気機関車は各保有企業が自力で維持費を捻出している。また前記の2者もそれぞれJR東日本、大井川鐵道がその維持に多大な助力をしている。

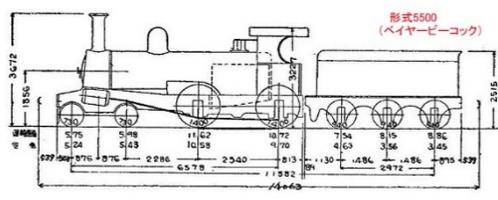
先進国の中でも日本は、**例外的な程に産業遺産の重要度に対する認識が低い**との指摘があり、例として「狭軌最大にして最速」のタイトルを持つC62形の本線稼働機であったC62 3が資金難から運転終了となってしまったことや、静態保存を謳いながらも実質放置されて朽ちかけていたり、保存後に解体処分されたものが多いことがあげられる。

蒸気機関車自体は最新のものでも半世紀以上経過しており、今後、保存・維持費は上昇していく。単独での収益を上げられず、運行に必要な人員もOBの登用など限られた人材の中から発掘していたが、OBの高齢化などもあり可能な限り整備要員を育成するなどの努力を行っている会社もあり、主なSL運行事業者では要員の育成・部品製造法の指導教育などを行っている。



上程度に弁装置を新規設計(ハックワース式)で凝ると、単純な外観の小型機でも20万円台。下程度の外観も

機構もシンプルだと10万台で提供可能になります。相当見た目は省略形で、既にB20で2軸の国内でも活躍したザックリした省略形の小型機は、やりつくした感が有り、クラウド、T3、ボールドウインの様に外観や機構をこだわるとアキュでも20万後半になりますね。ア



キュナローのペイヤーピーコックをアレンジして日本のピーテン型も考えましたが、これも機械的に凝らない形でも、周りにコテコテ、ボギーも凝り凝りの上、テンダーが付きますから

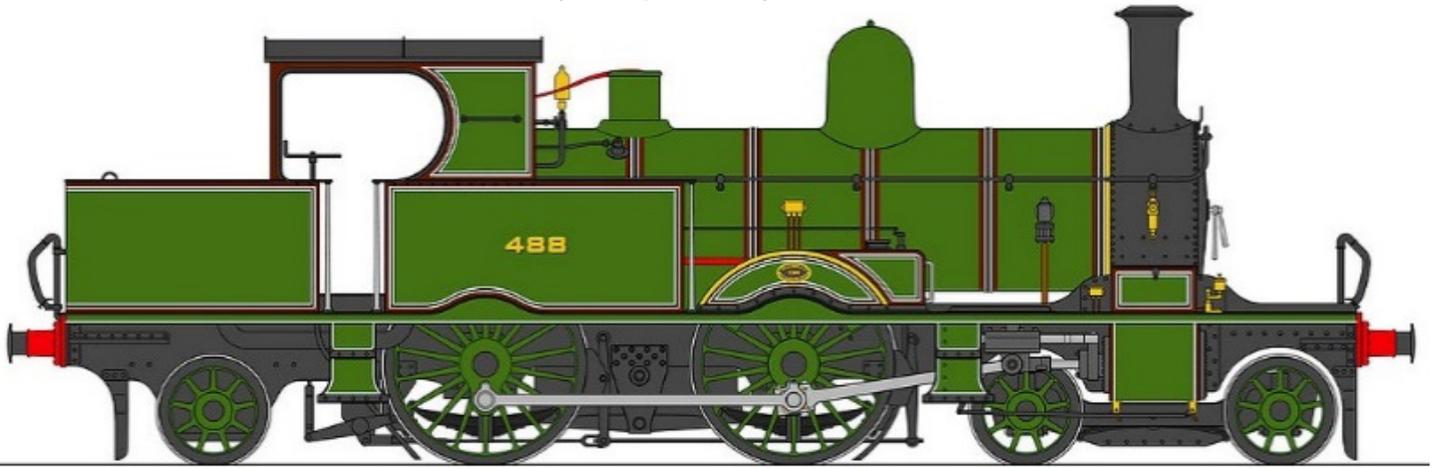
20万円台後半か？簡単なワルシャートで、且

つ国内でも100台は一気に売れると言う、有名な候補機種は、いますでしょうか？10万円台ですと、基本完成品のガス焚機になりますネ多分。20万後半のドイツ型だと来年出るBR80とか候補機は沢山あるのですが…

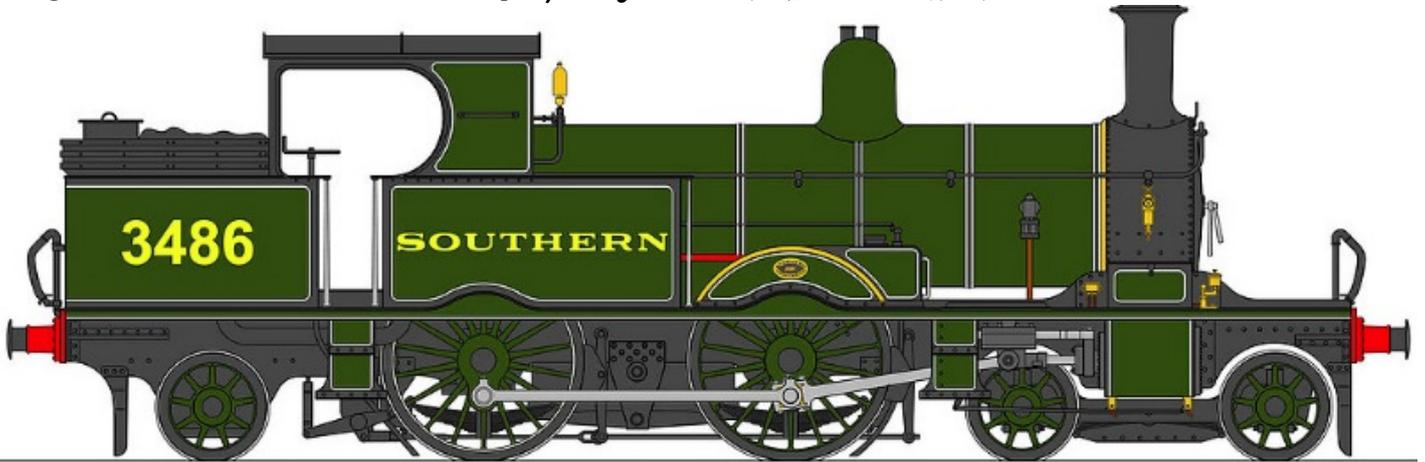
Brexit でもめているはずなのに **Adams** 御注意下さい！ (各色 **35** 台位です)



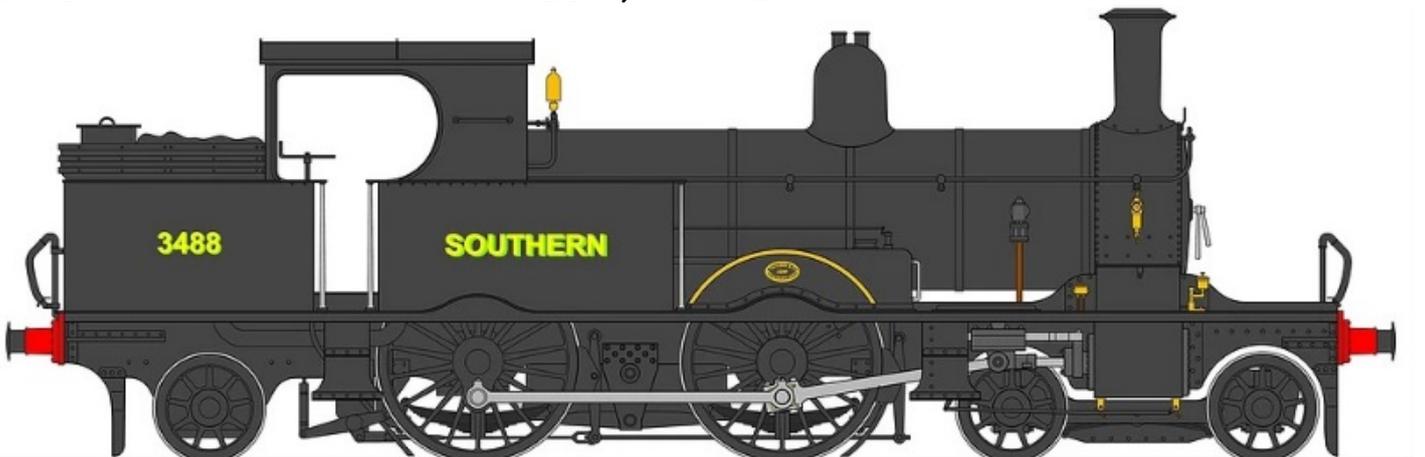
S32-15A L&SWR Adams Green #488, Fully Lined, (基本はこれ)



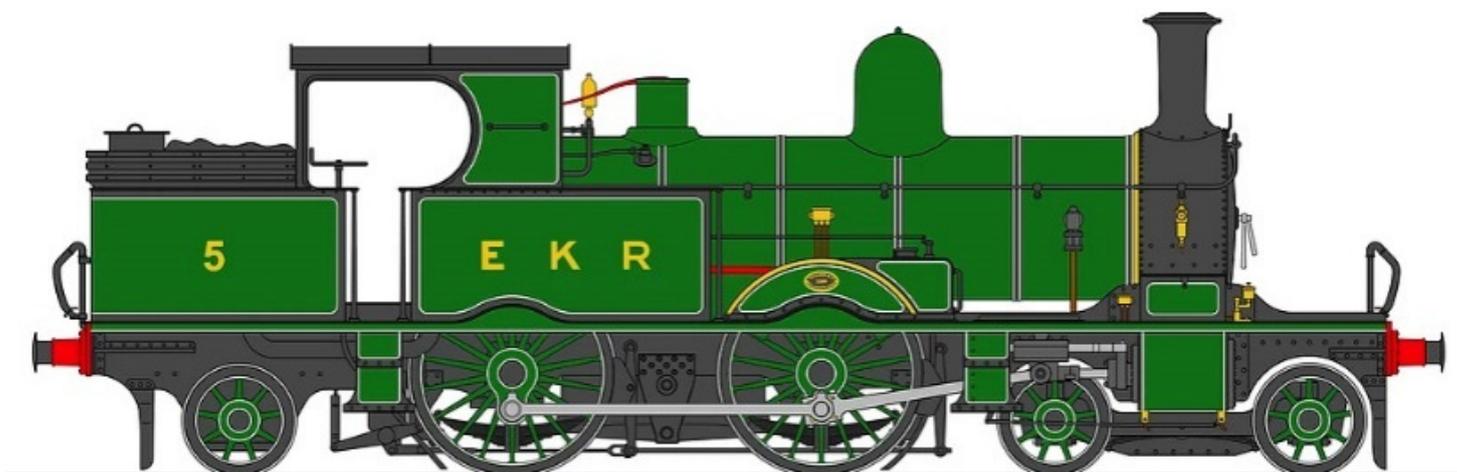
S32-15B L&SWR Drummond Green #488, Fully Lined (一番カラフル=派手)



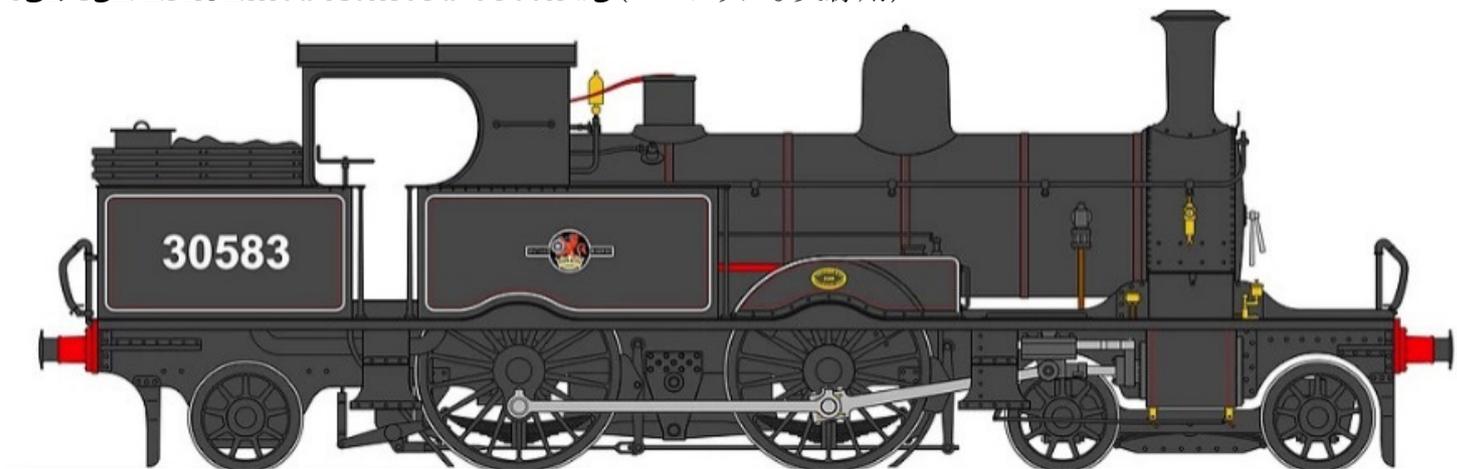
S32-15C SR Lined Maunsell Green #3486, (サザン鉄道に統合後の標準色。スパム缶やスクールズ所有者は、これ)



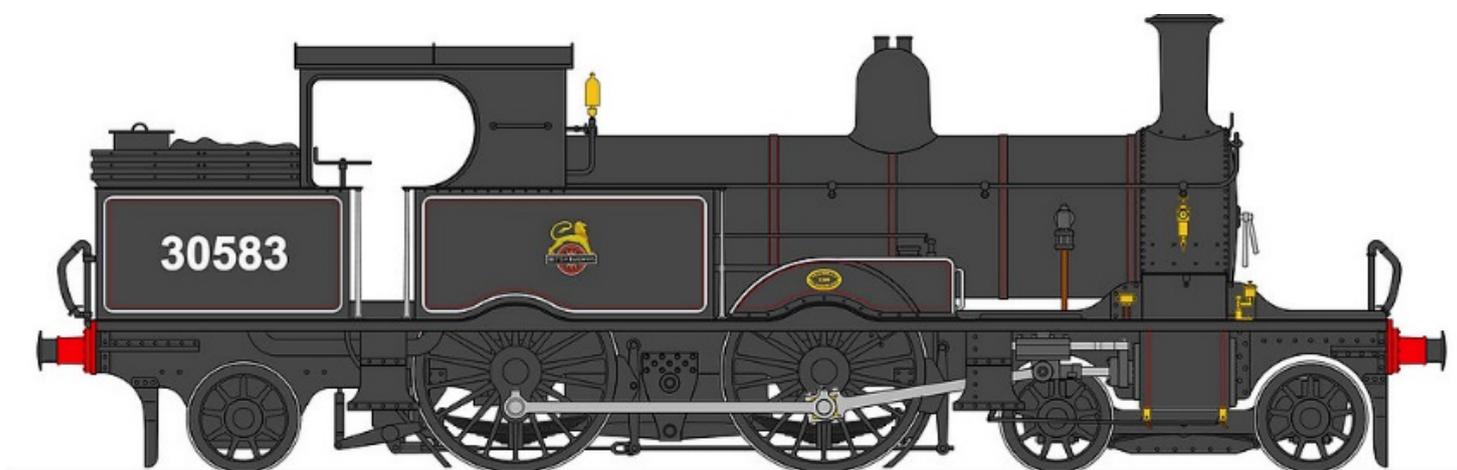
S32-15D SR Plain Black #3488, 'Sunshine' Lettering, (戦時中最後の私鉄型)



S32-15E EKR Lined Ashford Green #5 (マニアックな支線用)



S32-15F BR Black #30583, Early Emblem (英国鉄前期型紋章/現在動態保存機)



S32-15G BR Black #30583, Late Crest, R (英国鉄後期型紋章)

価格は色と仕様を問わず予約者のみ ¥220,000 RTR ¥240,000 (税送料別) です。

アダムの走行試験は、以下で確認下さい：<https://youtu.be/YjHbLqVVwgY> (専用の客車の試作機も見れます！要チェック！)

BR Thomson class B1 (仮・予約受付中)

BRトンプソンクラスのB1 Mayflower！仮予約受付中ですが、如何なものでしょうか？アダムの増産を受けて年内かなり厳しい状況です。ただアスター久々の完全新規モデル流石！戦後の汽車だけあって！プロトタイプと同じコンセプトの踏襲で、かなり大胆な新発想を盛り込んで新たな番地マークモデルにすべく各部で頑張っております、是非御期待下さい。

種類は以下の3機種から但しLNER仕様は予約者限定品になりますのでご注意ください。本来は無い、LNER仕様1306番のキットが **390,000** 円 (御予約者のみの限定生産)。それに伴い黒い仕様は ¥330,000、緑のBR仕様は ¥360,000 の予約特価。完成品は、いずれの仕様でも **490,000** 円 (共に税送料別価格) 予約時は、BRの黒か緑、又はナンバーを必ずご明記の上、合言葉『メイフラワー』の一言をお書き添えの上お伝え下さい。そのままの方は Web 表記価格で請求されます御注意下さい。



上記 LNER 1306 は予約者限定販売です！ 御注意下さい

Mikado…ビデオで音を確認して見て下さい

新たに本格的なライブ模型を楽しまれ様とお考えのお客様に、何故ミカドがお勧めなのかを御知り頂たく以下の You-tube を御紹介させていただきます。以下の You-tubu のリンク先→<https://youtu.be/swmr6QmtHAo> ここで聞こえてくるサウンドは、ギミック(電子的に作った偽音)ではありません。同時購入のお客様に限り、アキュラフト製のミカド用の牽引車輛も割引購入可能です。





エリー鉄道・

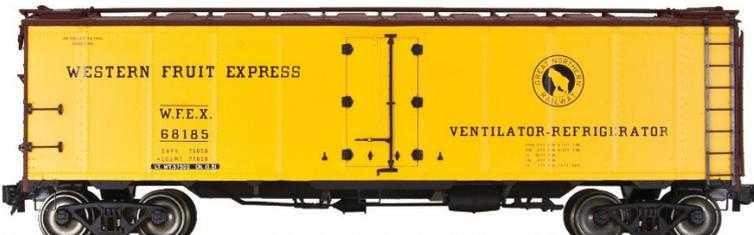
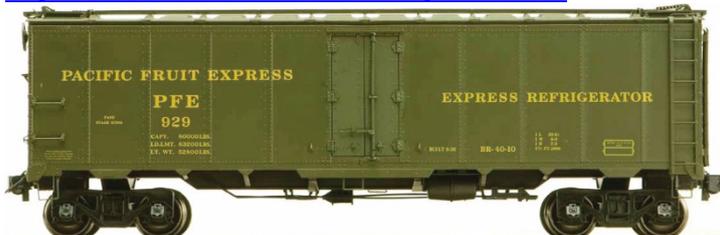


唯一のボールドウィン社製サザン鉄道・キット ¥485,0

完成品とライトミカドは、極僅かですので在庫を必ずお確かめ下さい。

継続中のヘビーミカドのキャンペーンで、お決めになられたお客様に限り、ミカド用の各鉄道会社の牽引車両を通常販売価格より10%引きで御購入頂ける権利になります。是非この機会にご活用ください。なおリーファ어의選択肢が増えました保冷車(リーファ어)揃えるなら今がチャンスです

<https://www.accucraftstore.com/sg-reefer-car>



注意: 上記全ての表示価格は全て税込別価格です



リーファ어の場合は、全ての番号を変える事が可能な6輛編成も3種類御用意できます。(ディスカウント対象牽引車輛は機種により鉄道会社を選べない場合が有ります。予めご了承ください)

ほぼ現状レートで、キャンペーン価格だと各機種税込別で1~1.2万円程度で御提供可能と思います(提供価格は、為替と便により微動します) 滅茶精密なディテールが再現されていますが、でもプラ製品ですから細かいディテールは、そのうち壊れるんです。でも筐体と脚周りが頑丈ですね!これならホッパーカーとして重い物(鉱石もどき)を乗せても大丈夫です。

新通風機未だ4台残っています。

弊社、アキュラフト共に恒常に、アクセサリは在庫をする事はございませんので御注意下さい。なので、購入希望者は必ず御予約下さい。通風機は絶対に MUST なアクセサリですので、新規で購入されたお客まは御注意下さい。

価格: ¥15,000(回転可変式) ¥10,000(通常型) 全ての表示価格は全て税込別価格です

